

図表でみる世界の年金—公的年金政策の国際比較

(OECD編著 栗林世監訳 連合総研訳 明石書店)

「OECD “Pensions at a Glance 2005” に関する翻訳プロジェクト」(*主査)

*栗林 世 (中央大学経済学部教授・連合総研顧問)

岡田 恵子 (連合総研主任研究員)

会田麻里子 (連合総研研究員)

麻生 裕子 (連合総研研究員)

後藤 嘉代 (連合総研研究員)

連合総研では、2006年11月にOECD報告書“Pensions at a Glance, PUBLIC POLICIES ACROSS OECD COUNTRIES”(2005)を翻訳するための所内プロジェクトをたちあげ、検討会を開催し、最終的に翻訳書を刊行した。

本書は、OECDが隔年で刊行する予定のシリーズの最初の報告書であり、OECD加盟30カ国の公的年金政策を年金受給者個人の視点から比較したものである。現行の公的年金制度のもとで新しく加入した個人が標準就労期間後に退職したとき、公的年金受給額がどのようになるのかを、所得代替率や相対的年金水準などの指標を用いて分析している。

目次

序文／はしがき：世界の年金改革／はじめに／要約

第1部 年金政策の検証

第1章 年金制度の類型化

第5章 相対的年金水準

第2章 年金制度における基礎係数の比較

第6章 年金資産

第3章 年金受給額のモデル分析

第7章 主要指標

第4章 所得代替率

付1. 1 確定給付方式、ポイント方式、みなし勘定方式の違い

付1. 2 感度分析

付1. 3 年金給付方式の累進性

参考文献

第2部 国別分析

はじめに／オーストラリア／オーストリア／ベルギー／カナダ／チェコ／デンマーク／

フィンランド／フランス／ドイツ／ギリシャ／ハンガリー／アイスランド／アイルランド／

イタリア／日本／韓国／ルクセンブルク／メキシコ／オランダ／ニュージーランド／

ノルウェー／ポーランド／ポルトガル／スロバキア／スペイン／スウェーデン／スイス／

トルコ／イギリス／アメリカ

任意加入の職域年金／カナダ／デンマーク／イギリス／アメリカ

訳語一覧

監訳者あとがき